

成績評定の考え方

請負工事及び委託業務の成績評定にかかる基本的考え方について

工事(委託業務)の目的物(成果品)が設計図書の条件を満たし、そのうえで同様の現場(業務)や他企業の施工管理などと比較して、特に秀でている項目【特に評価すべき項目】を評価する。

※設計図書の条件を満たすのは大前提※

評価の方法

「別表第1 採点基準運用表」の評価項目のうち、
【特に評価すべき項目】を「達成項目」としてチェックし、
その割合(又は数)から評価点を算出
(「でき形・品質」及び「創意工夫」を除く)



標準基準点に対し、加点もしくは減点

標準基準点



(工 事 65 点)
(委託業務 60 点)